

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R5	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応
基本理念「学びの場からつながる場へ」	① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます	1 経営・運営・管理状況に関する評価	1 図書館費決算額	1 図書館費決算額		143,728 千円	① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます	めざす姿 良質な図書館サービスの提供が図られている	●令和5年度の入館者数は、276,338人で総合計画後期基本計画に掲げ、整備基本計画においても数値目標とした年間利用者数230,000人を大きく上回りました。特に開館一年目の「ものめずらしさ」を加味しても市民が日常的に利用できる環境は充足している結果と考えられます。 ●館内における迷惑行為なども発生しましたが、スタッフの対応や警察との連携のもとで利用者の安全性・信頼性の担保ができたと考えられます。 ●市民の居場所としての認知度が高まり、イベント参加や学習利用者の満足度は高いと見込んでいますが、読書活動や地域情報の発信拠点としての機能についての満足度に課題があります。 ●市内のどこでも誰もが図書館サービスを受けられるように図書館を核とした図書館サービスのネットワーク化を段階的に進めていく必要があります。 ●全国的な図書館イベントにおいて、当館の考え方や取り組みについての事例報告を行い、他館との交流機会や情報収集を図りました。発表内容はスタッフと共有し「スタッフプライド」の醸成について再共有しました。	●研修について積極的に参加し、情報共有を行います。他館の動向を注視し、優良事例を取り入れます。 ●統計データや利用者アンケートの分析を通じて多面的な利用者満足度の向上を図ります。 ●市の財政状況から今後の図書館予算は緊縮せざるを得ない状況にあり、新たなサービス提供が見込めない中で既存の設備・体制の中で継続的かつ質の向上のためにスタッフ間の意識共有を図っていきます。 ●ホームページやSNSは重要な情報発信ツールであることから、イベントなどの情報を発信するほか、「としかんたより」は年間計画に基づき12回の発行を行い、多面的な情報発信を行います。 ●まちづくり協議会や福祉施設などとの継続的な意見交換を行い、「地域読書活動拠点」整備に向けた機運を高めていきます。
			2 図書館の適切な経営に関する評価	2 図書館費のうち、一般管理費の決算額		99,523 千円				
			3 業務統計	1 入館者数		276,338 人				
		2 貸出点数			291,552 点					
		個人貸出点数			284,183 点					
		団体貸出点数			7,369 点					
		居住地別貸出点数の偏差			10 点					
		年代別貸出点数の偏差			52,577 点					
		3 貸出人数			64,083 人					
		個人貸出人数		62,931 人						
	団体貸出数		1,152 件							
	居住地別貸出人数の偏差		20 人							
	4 運営の健全化	4 予約件数		14,604 件						
		5 電子図書貸出冊数		3,385 冊						
		6 電子図書貸出人数		3,296 人						
		7 雑誌スポンサー制度活用点数		16 点						
		1 リスクへの対応(訓練や危機管理研修の実施回数)		2 回						
		1 職員研修の受講回数		18 回						
		2 受講職員による情報共有回数		18 回						
	② 図書館サービス実施計画を着実に進めます	② 図書館サービス実施計画を着実に進めます	めざす姿 学びと交流の場となる図書館	●全国図書館大会などの職員研修に参加することにより、知識を深め、その情報を図書館内で共有し、館内の環境整備に活かすことができました。 ●修理本研修、著作権研修を図書館ボランティア、学校図書館司書に呼びかけて行い、図書館サービスに関わる意識の共有を図りました。 ●図書館での定期開催イベントのほか、市民交流会や開館1周年記念イベントをボランティア団体と連携して開催し、活動の様子をフェイスブック等で図書館の利用促進にかかる発信に努めることができました。ただ、計画的な情報発信を行いより一層の市民参加の促進を図る必要があります。 ●図書館サービス利用にかかるパスファインダーを作成し館内での配布や市ホームページへの掲載を行い、図書館サービスの周知に努めることができましたが、まだ一部のサービスの周知に限定されています。 ●社会見学や職場体験の受入れを行い、図書館の利用や魅力を説明し、読書活動を推進しました。ただ、主として小中学校に向けた取り組みにとどまっています。 ●図書館が他部局や市民団体と連携して行う取り組みとして、市の施策や市民の課題解決に役立つ情報を関連図書と併せたテーマ展示として通年的に開催するスタイルの確立ができました。 ●公民館講座に図書ユニットを持参し、出張図書館を開設し、市民の学びの場との連携を図ることができました。また、電子図書館の利用の出前講座も開催し、利用促進に努めることができました。 ●図書館からの情報発信として「としかんたより」を年6回発行しました。ただ、何を発信していくかはそ	●一年間の共催イベント開催の実績を踏まえて、図書館におけるイベント開催について一定の方針を定めていきます。 ●図書館が主体で行うこと、ボランティアに担ってもらうことを明確化し、それぞれの年間の動きを共有します。 ●利用者がレファレンスに親しみを持ってもらえるように取組めます。 ●まちづくり協議会や市民団体、各部署等の開催行事にあわせて図書館サービス提供ができるかの試行を進めます。 ●学校への出前講座を充実させ、図書館を活用した調べ学習などの推進に取組めます。					
6 市民交流						1 地域読書活動拠点訪問回数		25 回		
2 行政出前トーク等職員派遣回数							5 回			
3 図書館協議会開催数							3 回			
4 図書館ボランティア会議開催数							2 回			
5 交流イベント参加団体数							19 団体			
6 図書館ボランティア団体活動回数							83 回			
7 図書館ボランティア団体以外の活動回数							27 回			
8 行政連携展示件数		29 件								
7 情報発信	1 図書館ホームページへのアクセス数		68,824 件							
	2 図書館ホームページ更新回数		45 回							
	3 パスファインダー発行回数		7 回							
	4 ニュースレター発行回数		6 回							
8 図書館サービス認知度	1 レファレンスサービス		20 %							
	2 予約制度		76 %							
	3 リクエスト制度		43 %							
	4 データベース		23 %							

【総合計画 後期基本計画】
2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実
(5) 学びによる生きがいの創出
○指標 図書館入館者数
現状値 61,500人(令和2年度)
目標値 230,000人(令和7年度)

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R5	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応				
基本理念	実施方針	項目	測定項目	5	返却お知らせメール	9 %	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	の号ごとにばらつきがありました。					
				6	新着お知らせメール	5 %								
				7	電子図書館	17 %								
				8	座席予約サービス	35 %								
				9	フリーWi-Fi	41 %								
				③	9 蔵書状況	1 蔵書数(4月1日時点)					171,382 冊	③ 蔵書計画や保存に基づいた、図書資料の めざす姿 地域社会の情報源となる図書館資料の充実 社会的変化・成果 ・地域課題解決につながる情報や知識が得られる機能が高まっている。 ・各関係部署からの行政資料が蓄積されている。 ・レファレンス業務の認知度が上がっている。 ・「私たちの亀山アーカイブ」の情報が更新されている。 ・地域に関するレファレンスが増えている。 ・多様な地域の情報が集まっている。	●蔵書数171,382冊、前年度と比較して5,382冊の増加となりました。 ●電子書籍1,110冊、DL-マガジン188紙、合計1,298点とコンテンツも増え、閲覧できる図書館資料の幅が拡大しました。 ●地域に関係する資料収集も意識的に整理しましたが体系的な収集・配架にまでは至っていません。全庁的に行政資料について図書館に収集・配架する意識共有が進みました。 ●館内でのレファレンスの他、メールでのレファレンス対応を行い、その結果を図書館情報システム内にデータベースとして蓄積を回りました。ただ、110件と総数が少なくスタッフのレファレンス対応に十分に活用されている状況ではありません。	●資料収集の重点、蔵書全体のバランス、利用者ニーズなどを踏まえて蔵書計画の見直しを行います。 ●行政資料及び地域資料の収集や保存について積極的に取組みます。 ●資料の充実が図られることによって、地域の情報が図書館へ集まるように進めていきます。 ●レファレンス情報の蓄積を引き続き行っています。
				2	図書資料年間購入冊数	8,073 冊								
				3	寄贈資料登録冊数	205 冊								
				4	雑誌年間購入種類	61 種類								
				5	新聞年間購入種類	11 種類								
6	電子書籍コンテンツ数	1,298 件												
7	年間受入数	8,073 件												
8	ひみつ本更新回数	3 回												
9	行政資料収集周知回数	0 回												
④	10 子どもの読書活動推進状況	1 中高校生の企画運営参画イベント実施回数	2 回	④ 子どもの読書活動を推進します めざす姿 読書を通して希望に輝く心豊かな亀山の子どもたち 社会的変化・成果 ・18歳以下の図書館利用カード登録者数が増加している。 ・乳幼児連れの家族のイベント参加者が増加している。 ・図書館が学校や幼稚園等の社会見学や遠足に利用をされている。 ・学校との連携企画によるイベントが常態に行われている。 ・ボランティアの子どもに向けた活動スキルが向上している。 ・本好きな子どもが増えている。	●保育園・幼稚園を訪問し、絵本の読み聞かせ、手遊びを開催し、絵本に興味関心を持ってもらうことができました。 ●行政連携や市民活動団体との共催イベントを開催し、関連図書展示等を行い、本に親しむ機会を提供することができました。 ●図書館の本を学校図書館で借りることができる「ほんくる。」の運用を11月より開始しました。 ●図書館という場を生かし、学校への行きづらさを感じる児童生徒の居場所として「サークルルーム」の取り組みを進めました。 ●子どもたちの発達段階に合わせて読んでほしい本の情報発信はまだ不十分と感じています。	●学校の授業時間以外に読書をしていない子どもが増えていることから、小さい頃からの読書の機会づくりが増えるよう、図書館と学校が連携を進めながら読書活動を推進していきます。 ●子ども向けのイベント開催の割合が多く、大人向けの内容の企画をする必要があります。 ●「ほんくる。」の利用促進のため、学校等との連携を行い、定期的な案内を行います。 ●中高生の読書活動促進に向けて新入学時の利用カード作成を各校に働きかけます。 ●図書館のおすすめ本として、子どもたちの発達段階に合わせた情報発信を行っています。								
2	子ども向けテーマ展示回数	28 回												
3	18歳以下の新規登録者数	1,321 人												
4	18歳以下の年間貸出冊数	99,483 冊												
5	保育所等への出張よみきかせ等の訪問回数	18 回												
6	子育て支援センターサテライトの開催数	24 回												
7	ほんくる。利用の貸出点数	24 点												